

◆災害発生時には…

川や田んぼ、畑などの様子を見に行かない！

川や田んぼ、畑などに近づくのは危険です。



徒歩で避難！

車での避難は故障による二次災害や緊急車両の妨げとなります。



早めに避難をしましょう！

浸水や冠水の中で歩ける水の深さは、膝下くらいまでです。

川などが氾濫してからでは二次災害の危険性が高くなりますので、早めに避難をしましょう！



切れた電線に注意！

切れて垂れ下がった電線には、触れない近寄らないように注意しましょう！



避難は明るいうちに！

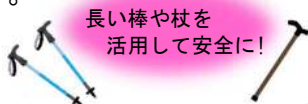
夜間の避難は危険です。可能な限り明るいうちに避難しましょう！



側溝やマンホールに注意！

道路が冠水していると、側溝や水路、マンホール(ふたが外れている)のが分かりにくいいため、転落の危険性があります。

長い棒や杖を活用し、慎重に歩きましょう。



運動靴を履いて避難！

長靴は水が入って歩きにくくなります。運動靴を履いて避難しましょう！



その他の防災情報は、町のホームページをご覧ください。

滑川町洪水ハザードマップ — 活用ガイド —



◆ハザードマップの使い方

STEP 1

自宅周辺の確認

ハザードマップで、自宅の位置や想定される被害状況を確認しましょう。



STEP 2

避難経路を考える

最寄りの避難所等を確認して、避難経路を考えてみましょう(複数の経路を考えておきましょう)。また、避難時に何を持っていくか考えましょう。



STEP 3

避難経路を歩く

避難経路を実際に歩いてみて、危険な場所がないか確認しましょう。

また、避難時の荷物が歩いて運べる量(重さ)か確認しましょう。

問題があれば、見直しましょう。



STEP 4

家族等との確認

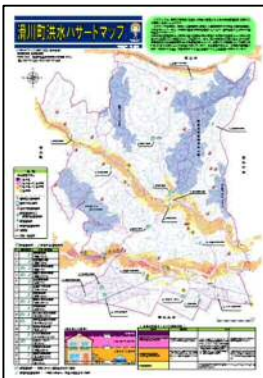
家族や近隣の方と災害時の連絡手段、避難先などについて確認してみましょう。



◆洪水ハザードマップとは？

洪水ハザードマップは、滑川町内の河川等が大雨によって増水し、氾濫した場合に想定される洪水浸水想定区域(水害リスク情報)^{※1}を示したものです。

なお、マップに着色されていない浸水想定区域外のところでも、想定を超える降雨や内水氾濫^{※2}などにより浸水する場合がありますので、ご注意ください。



※1 洪水浸水想定区域

水防法に基づき国及び県が管理する河川の氾濫等により浸水が想定される区域として指定されている区域です。また、県が水防法で公表が定められた洪水予報河川及び水位周知河川以外の県管理河川について、水害リスク情報図として令和2年5月26日に公表したものを併せて示しています。

※2 内水氾濫…降った雨が川などに流しきれずに引き起こされる氾濫

◆想定雨量について

2日間の総雨量が、
滑川・市野川で819mm
和田吉野川で870mm
を観測することを想定して作成しています。

<浸水深さの目安>



◆情報入手しよう

防災行政無線・防災メール配信システム

災害時の避難所開設等の情報を屋外スピーカーから放送します。天候等の状況により、聞き取りにくい場合があります。町では、放送した内容をメールでお届けする「防災メール配信サービス」を実施しています。事前の登録が必要ですので、左のQRコードまたは name.bousai@mpme.jp に空メールを送信し、その後届いた返信メールに記載された登録用URLにアクセスし、必要事項を入力し、登録をしてください。



気象警報・注意報

滑川町に発表されいる気象情報は熊谷気象台ホームページでも確認できます。



災害時の情報等

災害発生時の避難所開設情報や等は、町ホームページでもご確認できます。



◆避難について

「避難」とは「難を避ける」ことです。安全な場所にいる人は、避難をする必要はありません。避難所への避難以外の方法もありますので、複数の避難方法を検討しましょう。

安全に避難ができるように、日頃から備えておきましょう。

◆ ◆ 避難の方法 ◆ ◆

避難所への避難

町が指定する避難所への避難



親戚・知人宅への避難

安全な地域に住む
親戚・知人宅への避難



垂直避難

2階以上の部屋への避難

